



秋田犬ツーリズム通信「奥秋田」

Vol.015

発行日：2026年9月25日

発行人：秋田犬ツーリズム

◆オーストラリアの旅行会社へ、秋田・東北の魅力を発信！



▲商談会の会場があるオーストラリア シドニー

秋田県とANAが共同で取り組む「大館能代空港のインバウンド需要拡大」。タイ、シンガポール、香港、オーストラリアを主なターゲット市場として、海外からの誘客に向けた取り組みが進められています。

今回はオーストラリア市場への誘客強化と需要サーチを目的としてANAシドニー支店が年3回開催している旅行会社向け商談会の一つ「2026 Japan Travel Showcase in Wollongong」に出展し秋田犬ツーリズムエリアの観光コンテンツのセールスを行ってきました。

実施期間 9月1日（火）～9月3日（木）

現地で分かったこと

東北はまだ知られていない。だからこそ、伝えていく。

今回の商談会は、あらかじめ時間を決めて商談する方式ではなく、興味を持った旅行会社が自由にブースを訪れるスタイル。会話を重ねる中で、オーストラリアでは「東北」という地域そのものが、まだ十分に知られていないことが分かりました。

一方で関心の高かったテーマも見えてきました。

特に興味があったのは

- 秋田犬（秋田犬 Cafe にも関心あり）
- 冬の観光（阿仁スキー場など）
- 雪のある地域の体験

2社の旅行会社にてセールスを実施

紹介を受けたオーストラリアの旅行会社2社にも直接セールスを行いました。

- ① すでに東北を組み込んだ商品を扱っている会社
 - ・ 秋田の冬や阿仁スキー場に興味
 - ・ すでに東北の商品を取り扱っている。
- ② 東北についてまだ知らない会社
 - ・ 移動に難色を示す。
 - ・ 冬の雪道の交通に不安。
 - ・ 曲げわっぱ、きりたんぼ、レールバイクに興味。



▲旅行会社との商談の様子



体験を通して伝える、秋田の旅

秋田犬や冬の観光に加え、地域ならではの「体験」にも関心が集まりました。曲げわっぱづくり、きりたんぼづくり、レールバイクなど、秋田でしかできない体験を紹介。中でもレールバイクへの反応が良く、旅行商品としての可能性を感じる場面もありました。

今後に向けて

「行ってみたい」につなげるために

今回の商談を通して、秋田には海外の旅行者にとって魅力的な素材が数多くある一方、まずは「秋田・東北を知ってもらうこと」、そして「安心して訪れるイメージを持つってもらうこと」が重要だと感じました。

秋田犬を入口に、冬の雪景色やスキー、地域ならではの食文化、ものづくり、アクティビティへと興味を広げる。そして、移動など旅行会社が感じている不安にも、具体的な情報を丁寧に伝えていく。

現地でもいただいた声を今後の海外セールスや観光コンテンツの磨き上げに活かし、「知られていない秋田」から「行ってみたい秋田」へ。今回の出会いを、これからの誘客につなげていきます。

◆ Youtube チャンネル「8bitNews」に出演しました！



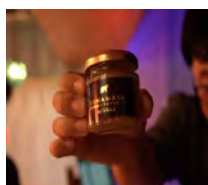
▲小坂ワイン「ワインランド 2025」

YouTube チャンネル「8bitNews」にて事業・地域製品の紹介を行いました。

「8bitNews」は、ジャーナリストの堀潤氏が代表を務め登録者約 40 万人を誇る YouTube チャンネルで、今回はこちらで配信されている「THE ODATE BAR ～ for Dialogue」に出演しました。当地域で活動する人をゲストに、地域のことや活動などについて語り合うことをコンセプトとしたライブ番組です。今回の出演では、秋田県北エリアの魅力や、当法人が取り組む観光地域づくりについて広く発信することを目的に、「外から見た秋田のウリは？」をテーマに対談しました。

番組では、地域の食や人の温かさ、ハチ公、マタギ文化、農泊など、秋田県北エリアならではの魅力について紹介しました。また、アドベンチャーツーリズムにも触れ、地域の日常や、その土地に根付く文化・歴史的な背景そのものを観光の価値として伝えていくことの重要性についてもお話ししました。観光による経済効果を地域に還元し、地域文化の継承にもつなげていくなど、地域に利益を残していく観光のあり方について意見を交わしました。

番組内では、小坂七滝ワイナリーの「ワインランド 2025」、ふかさわファームの「KUMAMASU」、食用ほおずき・こはぜを使用したパウンドケーキ、「秋田の枝豆」スナックなど、秋田県北の特色ある商品も紹介しました。



▲ KUMAMASU



▲こはぜパウンドケーキ



▲「秋田の枝豆」スナック

動画の視聴回数は 600 回（9/17 時点）ほどですが、地元の方からの反響もあり、チャンネル登録者の方々に当地域の魅力を知っていただき、地域内の方には事業活動を知っていただく有効な機会になりました。

◆日本政府観光局（JNTO）インバウンド旅行振興フォーラム参加



9月3日（木）・4日（金）の2日間、東京で開催された本フォーラムは全世界 26 都市から JNTO の海外事務所長等が一堂に会し、各市場の最新動向や新たな訪日マーケティング戦略に基づく取組などが紹介されました。今回は、当エリアへの誘客において特に重要となる台湾・タイ市場をはじめ、各マーケットの傾向や今後の訪日旅行の方向性について情報収集を行いました。

ターゲットのひとつであるタイ市場については、海外旅行需要そのものはまだコロナ禍前の水準まで回復していない一方、日本は海外旅行先として最も高い人気を維持しています。訪日経験が豊富な旅行者が増加しており 44%が訪日 4 回以上、26%が 6 回以上のリピーターとなっています。レンタカー利用も前年から 8 ポイント増加して 20%となるなど、個人で地方を周遊する旅行スタイルも広がっています。東北については、雪景色や静かな環境などへの関心が高いことも紹介されました。

台湾市場は、当エリアを訪れる外国人旅行者の中でも特に大きな割合を占める市場です。2026 年も訪日客数は過去最多のペースで推移しており、2019 年比でも約 60%増と引き続き拡大しています。特に、台湾の地方都市と日本を結ぶ航空路線の拡大に伴い、台北以外からの需要も成長しており、高雄市からの訪日客は 2026 年上半年に前年比約 38%増加するなど、新たなマーケットが広がっています。「大館エリア訪日インバウンド拡大に向けたグランドデザイン」でも言及されている台湾の新規顧客獲得の可能性は高いことが改めて確認できました。秋田犬ツーリズムでも、北秋田市が主催するトップセールスに同行し高雄市でのプロモーションを予定しており、台湾地方都市からの誘客強化につなげていきます。タイ市場についても同様に冬場の誘客を要と位置付けており、国の戦略にも沿って施策を進めていきます。

「大館エリア訪日インバウンド拡大に向けたグランドデザイン」は下記 URL からご覧いただけます。

https://www.city.odate.lg.jp/uploads/public/pages_0000013754_00/grand_design_2026.pdf

◆アドベンチャートラベルモデルルート形成事業ワークショップ



▲事例紹介「東風平蒔人氏」



▲多くの刺激を受けた意見交換



2026年8月26日、山形市で開催された「AT 素材掘り起こしワークショップ」に参加しました。

昨年9月に開催された「Adventure Week 2025 東北」をきっかけに、東北各地でアドベンチャートラベル(AT)への関心が高まっています。今回のワークショップは、その機運を一過性のものにせず、地域に眠る自然・文化・歴史などの素材を掘り起こし、旅行商品として形にしていけることを目的に開催されたものです。

地域資源を「旅の体験」へ。意見を出し合い、魅力を再発見

有限会社「遊名人」の代表取締役社長・東風平(こちひら)蒔人氏から、仙北市を中心としたツアー造成の事例が紹介されました。地域の方との交流や文化体験を通して、訪れる人が地域への理解を深められるツアーづくりについて、具体的なお話を伺いました。

その後のフリートークセッションでは、地域の魅力やATにつながる可能性について意見を交換。ワークショップでは「どのような体験をすれば、心に残るアドベンチャーになるのか」をテーマに、素材をどのようなモデルルートにできるかを考えました。

秋田から「山伏×マタギ」を発信

参加者の多くが山形県内からの参加だったこともあり、山形の自然や文化、暮らしに根差したさまざまな魅力が紹介されました。普段は「当たり前」と思っている地域の風景や文化も、訪れる人の視点で見つめ直すことで、新たな旅の価値になることを実感しました。

秋田犬ツーリズムからはジャスパーが参加し、「山伏」と「マタギ」という東北に受け継がれてきた二つの文化をどのようにつなげ、ひとつの体験として磨き上げていくかについて発表しました。

山伏 × マタギ — 秋田ならではのアドベンチャートラベルコンテンツへ

地域に受け継がれてきた文化や人との出会いを、ここでしかできない「旅の体験」へ。今回のワークショップでは、地域の魅力を新たな視点から見つめ直す多くの気づきと刺激を得ることができました。山伏とマタギ、それぞれが持つ歴史や精神文化、山との関わりをつなぎ、秋田ならではのATコンテンツへ。今後のコンテンツ造成につながる、実りあるワークショップとなりました。

◆四季美湖まつりに審査員として参加して来ました！



9月6日(日)、北秋田市の森吉四季美湖で開催された「森吉四季美湖まつり」に参加しました。今回で5回目となるバンドコンテストでは、4回目となる審査員を務めさせていただきました。今年は8組のバンドが参加し、それぞれが個性あふれる演奏を披露。会場には音楽を楽しむ人たちの笑顔と、熱気が広がっていました。

四季美湖まつりの楽しみは、もちろん音楽だけではありません。

四季美湖では釣りを楽しむことができ、毎年、釣りを目当てに訪れる方も多く、この日も湖畔では釣りを楽しまれる姿が見られました。また、カヌーを楽しみたいという方も多く訪れ、湖面から森吉の自然を満喫していました。

地域の皆さんが大切に育ててきたこのお祭りに、こうして4回にわたり関わることができていることを嬉しく思います。これからも、地域の魅力を楽しみながら、その魅力を多くの方へ伝えていきたいと思っています。



◆ノースアジア大学の学生 2 名をインターン生として受け入れました！

若い視点で、地域の魅力をみつめる



▲レールバイクを初体験！

今回の実習では、シルバーウィークに おすすめしたい地域の訪問先を調べ、情報を取りまとめたほか、EC サイト「こだわり AKITA セレクトショップ」の売上向上や掲載内容の改善について考え、レポートを作成しました。



◀商品の発送までをお手伝い。



▲EC サイトについて説明を受けています。

また、地域の観光スポットやイベント会場での PR 用素材の撮影をサポート。さらに、商品の仕入れや検品、梱包・発送、販売対応など、観光情報の発信だけではなく、地域の商品をお客様のもとへ届けるまでの仕事にも携わっていただきました。



▲SNS で紹介する写真を撮影



▲若い視点からの提案をプレゼン！

まとめていただいた観光情報は
こちらに掲載しています。

<https://visitakita.com/news/20260917/6065/>

5 日間のインターンシップを終え、学生からは、地域の魅力を「伝える」ことの難しさと、そのためには相手の立場に立って考えることが大切だという気づきが寄せられました。

観光情報のまとめや EC サイトの改善、プレゼンテーションなど、さまざまな仕事を体験する中で、これまで知らなかった秋田の魅力を発見するとともに、観光は情報を発信するだけではなく、地域の方々と関わりながら、さまざまな仕事を積み重ねて成り立っていることを学んだようです。

今回の経験で得た気づきが、これからの大学生活や就職活動、そしてそれぞれの未来につながっていくことを願っています。

◆能代高校の生徒がフィールドワークで来訪

秋田犬を入り口に地域の観光を探求

9 月 3 日（木）、能代高校より、探究活動のテーマに「秋田犬」を選んだ生徒 2 名がフィールドワークのため来訪しました。

当日は、秋田犬と他の犬種との違いや、インバウンドによる訪問者数などについて、生徒からさまざまな質問が寄せられました。

また、秋田犬を一つの「観光資源」として捉え、秋田犬をフックとした当法人の活動や、秋田犬が地域の観光にもたらしている影響について説明しました。

身近な存在である秋田犬を切り口に、「秋田犬が地域の観光にどのような役割を果たしているのか」を考える今回のフィールドワーク。生徒たちが自ら問いを立て、地域の魅力や可能性を探る学びの一助となれば幸いです。



▲熱心に質問しています。

◆上小阿仁村「畑の学校 3 回目」に参加しました！



▲えごまの葉を収穫

畑で学び、つくって、味わう

8月23日（日）上小阿仁村で開催されている「畑の学校」第3回に参加しました。

今回は、畑でえごまの葉を収穫。収穫した葉を使って、ひき肉を使わない佃煮や天ぷらをつくり、みんなで味わいました。

さらに、上小阿仁村の特産品である「ほおずき」の収穫も体験。畑で育つ作物を実際に手に取り、収穫から調理、そして食べるところまでを体験しました。

子どもから大人まで、えごまについて学び、土に触れ、自分たちで収穫したものを料理して味わう——。食べものがどのように育ち、どんな風に食卓へ届くのかを、楽しみながら知ることができた、充実したひとときとなりました。



▲「ほおずき」も収穫



▲おいしくできるかな？



▲えごまの葉の天ぷら



▲みんなでいただきます！

◆大館 JC・渋谷 JC 交流事業に協力しました！

ハチ公をめぐるご縁を、謎解きでたどる

8月23日（日）、大館青年会議所の依頼を受け、大館青年会議所と東京青年会議所渋谷区委員会の交流事業において、体験プログラムとして謎解きイベントを実施しました。

舞台となったのは、秋田犬の里。敷地内に点在するクイズを探しながら、ハチ公にまつわるエピソードや、大館市と渋谷区の両地域にゆかりのある事柄について楽しく学ぶ内容です。

参加した両地域の小学生たちは、仲間と一緒に敷地内を歩き、クイズの答えを探しながら、ハチ公がきっかけとなって生まれた大館と渋谷のつながりに触れました。

一頭の秋田犬から始まったご縁が、今も人と人、地域と地域をつないでいます。今回の謎解きが、子どもたちにとって両地域の絆を身近に感じるきっかけとなればと思います。そして、子どもたち自身がこのご縁を大切に育みながら、未来へ、そして次の世代へとつないでいってくれることを願っています。



▲楽しく謎解き！

◆「道の駅ふたつ枝豆フェア」に今年も協力しました！



▲好評だった枝豆スイーツ

8月22日（土）・23日（日）、道の駅ふたつで開催された「道の駅ふたつ枝豆フェア」に枝豆関連商品の認知度向上と販売促進を図ることを目的として、今年も協力しました。

朝採れ枝豆商品は、期間中に販売された「えだまめサンデー」と「えだまめシェイク」といったメニューに活用され、好評につき期間後も継続販売をいただきました。また、山田桂月堂の「おおだてえだまめモナカ」、大正堂の「青ガエルスティックケーキ」、大鳳堂の「えだまめラスク」が販売され枝豆商品の魅力を幅広く知っていただく機会となりました。

◆イベント情報 ～地域のイベントをご紹介します～

10月4日(日) 縄文シティサミット in きたあきた

※ 2026年9月25日現在 秋田犬ツーリズム調べ
詳細につきましてはお問い合わせ先へお願いいたします。

縄文文化の魅力と、これからの地域づくりについて考える「縄文シティサミット in きたあきた」が、2026年10月4日(日)に北秋田市文化会館で開催されます。

今回のテーマは、「1万年の造形力が、未来の都市を創る ―縄文のココロとカタチ―」

サミットでは、立命館大学デザイン・アート学部・デザイン・アート学研究科教授・副学部長の中村大氏による基調講演を実施。

続く首長討論では、縄文都市連絡協議会に加盟する都市の首長がパネラーとして参加し、縄文文化を生かした地域づくりについて意見を交わします。

さらに、北秋田市が誇る縄文遺跡「伊勢堂岱遺跡」に関わる人々による事例紹介も予定されています。

プログラムは、第1部「カタチで魅せる縄文 ～インフラと食～」・第2部「ココロを繋ぐ縄文 ～地域づくりと人づくり～」の2部構成。

縄文時代の文化や遺跡を単に「過去のもの」として見るのではなく、地域のつながりや人づくり、そして未来のまちづくりにつながるヒントとして考える機会となります。

【開催日時】 10月4日(日) 13:30～16:40

【開催場所】 北秋田市文化会館

お問い合わせ 縄文シティサミット in きたあきた事務局(北秋田市文化スポーツ課 世界遺産係)

TEL: 0186-67-6771

<https://visitakita.com/news/20260824/6051/>



10月10日(土) 10月11日(日) 第54回本場大館きりたんぽまつり

今年も新米の時期・美味しいきりたんぽの時期がやってきました。

きりたんぽは「おふくろの味」「ハレの日の食べ物」として各家庭で受け継がれて、今でも冠婚葬祭やイベントの際には季節を問わず“おもてなし料理”として振舞われています。

好評の「きりたんぽグランプリ」や味噌つけたんぽづくりのほか、様々なステージイベントや体験メニューも盛りだくさん。

ニプロハチ公ドームで地域の魅力をまるごと楽しんでみてはいかかでしょうか？

【開催日時】 10月10日(土) 10月11日(日)

【開催場所】 ニプロハチ公ドーム
(大館市上代野字稻荷台 1-1)

【問合せ先】 大館食の祭典協議会

TEL: 0186-48-7400

<https://odate-foodfes.com/>



◆イベント情報 ～地域のイベントをご紹介します～

10月11日(日) 10月12日(月) 小坂・鉄道まつり2026

※ 2026年9月25日現在 秋田犬ツーリズム調べ
詳細につきましてはお問い合わせ先へお願いいたします。

鉄道の魅力をたっぷり楽しめる「小坂・鉄道まつり2026」が、10月11日(日)・12日(月・祝)の2日間、小坂鉄道レールパークで開催されます。

期間中は、機関車やあけぼの号の開放寝台車内を自由に見学できるほか、構内留置車両の見学や、電源車・モーターカーなど普段はなかなか間近で見ることでできない車両も公開されます。

特別イベントでは、列車旅行体験システム「ハネ・シート」や出札体験、ブルートレインあけぼの号の車内放送体験、車内販売カート撮影会など、鉄道ファンはもちろん、お子さまも楽しめる企画が盛りだくさん。さらに、ラッセル車の操作実演や走行・操作実演、ホキ909の碎石模擬放出実演、ガイド案内園内ツアーなど、迫力ある実演も行われます。

両日ともに「小坂鉱山鉄道銅」がワンコインで販売され、特典として「拝線印」(廃線印)のプレゼントも！新グッズ「キハ2101形パンケース」「小坂駅廃線印」の販売も予定されています。(10月11日より販売開始)

鉄道の歴史と車両の魅力を間近で体感できる2日間。秋の小坂で、懐かしさとワクワクが詰まった鉄道の世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。

小坂・鉄道まつり2026
10月11日(日)・10月12日(月・祝)
9:00開園～17:00閉園 ※最終入園16:30
開催：小坂鉄道レールパーク 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山古川29号

入園料(税込み) 大人600円 小人300円(小中学生) 幼児無料(未就学児)

10月11日(日)	イベント	10月12日(月・祝)
9:00～17:00	●機関車庫内自由見学 ●あけぼの号開放寝台車内見学	9:00～17:00 ●機関車庫内自由見学 ●あけぼの号開放寝台車内見学
9:00～16:45 (終了30分前までに入園)	●構内留置車両見学 ワフ28001・28002・28003 TMC100 モーターカー DD13-556 機関車	9:00～15:00 ●(10:30～) 列車旅行体験システム(ハネ・シート)体験会 ●出札体験
●(10:30～) 列車旅行体験システム(ハネ・シート)体験会 ●出札体験		9:00～16:00 ●構内留置車両見学 ワフ28001・28002・28003 TMC100 モーターカー DD13-556 機関車
9:30～10:00	●ブルートレインあけぼの号の車内放送体験(決着10分前まで) ●車内販売カート撮影会	9:30～10:00 ●ブルートレインあけぼの号の車内放送体験(決着10分前まで) ●車内販売カート撮影会
10:00～10:30	●乗務員撮影会	10:00～11:00 ●ガイド案内園内ツアー(60分程度)
10:30～11:00	●ラッセル車操作実演(車両：キ115ラッセル車)	11:00(1回目)・14:30(2回目) ●ホキ909碎石模擬放出実演
11:00(1回目)・14:30(2回目)	●ホキ909碎石模擬放出実演	13:00～14:00 ●ラッセル車実走体験(ホキ909)実演(車両：キ115ラッセル車)
13:00～14:00	●ガイド案内園内ツアー(60分程度)	14:00～14:30 ●電源車(カニ24-511)車内見学(中学生以上・定員50名・1回10名×5回実施)
14:00～14:30	●電源車(カニ24-511)車内見学(中学生以上・定員50名・1回10名×5回実施)	

●レールバイク・観光トロリー運行 11日 9:00～12:00・13:00～16:00 12日 9:00～12:00・14:00～16:00 (決着15:45)

●小坂鉱山鉄道銅販売 10:30～ (販売終了次第終了)

●特典「拝線印」(廃線印)プレゼント

●お問合せ 9:00～16:30 小坂鉄道レールパーク 電話 0186-25-8890

【開催日時】10月11日(日) 10月12日(月)

【開催場所】小坂鉄道レールパーク TEL: 0186-25-8890

<https://kosaka-rp.com/pages/182/>

10月3日(土)～11月3日(火) 森吉山ゴンドラ山歩 秋

森吉山の秋を彩る紅葉シーズンに合わせ、秋ゴンドラが10月3日(土)から期間限定で運行されます。

ゴンドラに乗って山頂駅へ向かえば、眼下に広がるのは、赤や黄、緑が織りなす鮮やかな紅葉。標高によって移り変わる色彩を眺めながら、360度の壮大な紅葉パノラマをお楽しみいただけます。

眩しいほどに色づく森吉山と雄大な山々の景色、そして爽やかな高原の空気。日常を少し離れて、自然の中で深呼吸するような、心地よいひとときを過ごせます。

この季節ならではの美しい森吉山を、ゴンドラからゆっくりと眺めれば、心と体を解き放ち、秋の森吉山の魅力を心ゆくまで堪能できます。

【開催期間】10月3日(土)～11月3日(火)

【開催場所】森吉山阿仁スキー場

お問い合わせ TEL: 0186-82-3311

<https://www.aniski.jp/mtmoriyoshi/>

森吉山 MtMoriyosi

春夏ゴンドラ営業
2026年6月6日(土)～9月27日(日)
※8月18日から10月3日まで平日も営業

秋ゴンドラ営業
2026年10月3日(土)～11月3日(火)

天空の花園へ、ゴンドラ山歩
6～9月 8:45～16:00 上り乗車15:30
10月 8:45～15:30 上り乗車15:00
※ゴンドラには随時乗車できます。※天候により時間変更、運休あり。

◆来訪者数データ速報（出所：東北観光 DMP（Agoop 社データ））

秋田犬ツーリズムではビッグデータを活用したマーケティングを行っています。スマホ GPS データを基に計測した当地域への来訪者数の速報値を毎月お知らせします。※注：数値は拡大推計されており、実数ではありません。外国人客および各市町村の居住者を除く数値です。

8 月の日別延べ来訪者数（日帰り & 宿泊）

以下の図は 4 市町村への来訪者数の日別推移を示しています。8 月はお盆期間を中心に来訪者数が大きく増加し、特に 8/9～16 は 1 日あたり約 1 万 4,000～1 万 9,000 人の高い水準で推移しました。この期間に顕著に増加したのは「秋田犬の里」、「道の駅十和田湖」、「大館能代空港」、「道の駅かみこあに」等で帰省客を中心に移動・来訪が増加し来訪者数を押し上げました。



8 月の 1 日あたり平均来訪者数は、平日約 9,900 人、休日・祝日約 11,400 人となりました。前年同月比は平日 121%、休日・祝日 104%といずれも前年を上回り、4 月から 5 カ月連続で前年を超える数値となりました。特に平日は前年から約 20%増と伸びが大きく、お盆期間が平日を含んでいたことも来訪者数を押し上げた要因と考えられます。一方、休日・祝日についても前年を上回る高い水準を維持しました。

	全体平均	平日	休日・祝日
1日あたり平均人数	10,356	9,946	11,415
前年同月 1日あたり平均人数	9,100	8226	10987
前年同月比	114%	121%	104%



私が担当しました！



◆「こだわり AKITA セレクトショップ」のおすすめ商品をご紹介します！

朝採れ枝豆 産地直送 期間限定

A品 2kg

～おいしい枝豆を届けるために～

発送日当日に収穫！
収穫後は、発送するまでの間、食味が落ちないように低温で管理。

朝採り 実績

今年で朝採れ枝豆9年目！
これまでの様々な取り組みや
実績から得たノウハウを活か
して、おいしい枝豆をおいし
い状態のままお届けします。

鮮度保持袋「アピノンキーパー」でフ
レッシュな状態をキープ！
シンガポールに輸出時に採用している
優れたもの！

「朝採れ枝豆（A品） 2kg 期間限定」¥4,320（税込） 税率8%

実は枝豆は「秋」がうまい。

枝豆といえば夏のイメージがありますが、実は秋に旬を迎える枝豆こそ、格別のおいしさ。

今回お届けするのは、秋田県北部で育った「あきたほのか」。

粒が大きく、味が濃く、豊かな甘みと香りが楽しめる、秋田自慢の品種です。

昼夜の寒暖差が大きい大館市・北秋田市の気候は、枝豆の甘みや風味を育むのに適した環境。そんな土地で大切に育てられた枝豆を、秋田犬ツーリズムでは地域の生産者や関係者とともに立ち上げた「朝採れ枝豆」ブランドとしてお届けしています。

収穫後は鮮度保持袋「アピノンキーパー」を使用し、徹底した温度管理のもと出荷。みずみずしい香りや濃厚な味わいをお楽しみいただけます。

一度味わえば、「もう、いつもの枝豆には戻れない。」そう思っただけの自信があります。

旬の味わいを楽しめるのは、ほんのわずかな期間だけ。ぜひお早めにご賞味ください。



こちらから
アクセス！

- 編集後記 -

朝晩の空気がすっかり涼しくなり、秋の訪れを感じる頃となりました。

今月は、事務所を若い方々が訪れる機会が多く、真剣なまなざしや、私たちとはまた違った新鮮な視点に、たくさんの刺激をいただきました。柔軟な発想や若い感性から生まれる提案を、これからの活動にも大切に活かしていけたらと思っています。

季節はいよいよ秋本番へ。おいしいものを味わうのもよし、旅に出るのもよし、色づきはじめる山々を眺めるのもよし。

秋田の秋には、心をくすぐる楽しみがたくさん待っています。さて、この秋は何から楽しみましょうか。わくわくする季節のはじまりです。



HPはコチラ

